



ペテロの葬列

宮部みゆき著 (集英社)

拳銃を持った老人によるバスジャックに遭遇した杉村。あつけなく解決したかに見えた事件の動機の内側には、深い闇が隠されていた。『誰か』名もなき毒に続く杉村三郎シリーズ第三弾。『千葉日報』ほか掲載を加筆修正。



爛

瀬戸内寂聴著 (新潮社)

八十三歳になる人形作家・上原眸の元に、友人の茜が死亡したとの報せが届く。折にふれ茜のいま夢中になっっている情事について聞かされてきた眸は、四十年に及ぶ二人のつきあいに思いを馳せ、『新潮』掲載を単行本化。



はじめて住宅ローンを借りるときに読む本

竹下さくら著 (廣済堂出版)

「家を買う前」にかかるといえるお金の種類は？住宅ローンの知識や身の丈にあった「物件価格」の見極め方、無理のない資金計画の立て方などを紹介。借入可能額・毎月返済額一覧も掲載。



児童書新刊
ファイアー・クロニクル

ジョン・ステイブンス著 (あすなる書房)

強大すぎるパワーゆえ、封印されていた三冊の「最古の魔術書」。古の予言通り、一冊目の魔術書はウイバーリー家の長女の手。二冊目の魔術書「ファイアー・クロニクル」は……。子どもから大人まで楽しめる冒険ファンタジー。

豊山俳句クラブ

青山克己選

小塚美枝
大老樹村中黄葉照りにけり

石黒貴代子
田村多喜子
空白の多き日記や時雨けり

杉本裕子
高木須磨子
杭を打つ冬野はいまも荒れしまま

坪井径子
坪井昭子
形良き柚子の一つを輪切りせり

安藤 昇
安藤 昇
老体に脚立危うきすす私ひ

青山克己
岡島 齋
鬼ごっこ目隠しとつたら冬がゐるた

杉浦みどり
小春日や平凡なるを良しとせり

豊山歌壇

水野笑子選

林 たよ
甘味料は体重増して食欲増し
インスリンへの悪影響あり

荒川昌枝
山田 米
積乱雲夏の輝き美しと
仰ぎし頃はわが身も壮年

安藤定岳
渡辺トヨ子
七十年一生涯命生きて来て
惜しむものなしや命かな

一柳千鶴子
中澤芳子
二回目なる名古屋に催す芸術祭に
ボランティアガイドの説明嬉し

井上とよほ
村上 一枝
雨水さへ汚染されるて溢るるも
止める術なく不安は深し

編集後記

もう十年前になるが、ブラジル音楽のボサノヴァの神様といわれるジョアン・ジルベルトの来日コンサートに行った。彼の歌とギターが紡ぎだす世界は、ブラジルの灼熱の太陽というよりも、哀愁と陰翳に響いたものだった。私たちの心に響くものがあるのか、日本では本場ブラジルよりもボサノヴァのファンが多いらしい。「イバナマの娘」や「ウエーブ」など、誰しも一度は耳にしたことがあるはず。▼日本に住んでいる在留外国人は、約二百三十万人(平成二十五年六月現在。法務省調べ)。最も多い国は中国、次に韓国・朝鮮、フィリピンと続き、四番目がブラジルで十九万人だ。都道府県別に見ると愛知県が最多で、約五万人。日本に在留するブラジル人の四人に一人は愛知県にいらつしやる計算になる。▼身近ともいえるブラジル。しかし、国の姿はあまり知られていない。たとえば言葉、中南米にあるのでスペイン語だと思われがちだが、実はポルトガル語である。かつてポルトガルの植民地だったからだ。その後独立したけれども、軍事政権に支配されていた時代もあった。最近では経済躍進が著しく、今年はサッカーのワールドカップも開かれる。リオのカニバルは世界最大のイベントといわれ、華やかだ。その一方でブラジルには麻薬や銃による犯罪や、格差の問題も横たわっている。▼光と闇が強烈に交差する国、ブラジル。今月号に参加者募集記事を掲載した多文化共生交流会のテーマだ。その魅力と深みを、素敵な音楽と一緒に体験していただきたい。多数の「応募をお待ちしている。Abrigado, Obrigado」(また会いましょう、ありがとう)。